



三重県ユニセフ協会機関誌

みえユニセフレター

Mie Unicef Letter 2017

Vol. 9
2017.1

あらためて「ユニセフ」という精神と活動

ことしは、三重という地域で「ユニセフ（UNICEF:国連児童基金の略）」活動が三重県に誕生（2012年12月設立）して今年で、5周年になる。ところがユニセフという活動は一体何だろうか、あるいはどのような組織であるか、などいまあらためてこの活動の意味を考えてみたい。

まず、ユニセフの活動である。全世界の子どもたちに夢と希望を与えることを根幹に活動の精神をおいている。この精神を支える活動の具体的なあらわれが世界のすべての子どもにいきわたるように、大人は子どもに、健常児は障がいある児などに寛容でなければならない。

人間として生まれてきた以上、差別やいじめ、虐待がないように平和に生活し、すべての子どもたちに人権がいきわたらなければならない。

このような思いを実現させるため、ユニセフは「すべての子どもたちの権利が守られる世界150以上の国と地域で、保健、栄養、水、衛生、教育、HIV/エイズ、保護、緊急支援、アドボカシー（政策提言）などの活動を実施しています」（日本ユニセフ協会）。こうしたユニセフの理念を達成するため、「募金活動、広報活動、アドボカシー（政策提言）活動などを担っています」（同）。

最後に、写真家・大石芳野さんの近刊写真集『戦争は終わっても終わらない』（藤原書店）を紹介しておこう。彼女の平和観によれば、戦争体験者と未経験者に分け、その厳しい時代を生き切った人々が持つ戦争というものの実態と向き合うことの重大さを説いている。そのことを大石さんは、次のような言葉で若い世代と向き合っている。「70年も前に戦争は終わったのである。もう傷は癒えているはずだと、戦争の現実を知らない戦後生まれの人は思う。」しかし戦争体験者にとっては「戦争は終わっても終わらない。」(227頁)

これらの言葉は、いろいろな世相をレンズに写し撮ってきた大石さんの鋭いまなざしが私たちを射抜くかのように思える。すべての人々が前述したようなユニセフの理念と活動を理解し、子どもたちに対する偏見や差別を培養するような教育や宗教観を植えつけることを拒絶するような立場を作り出してはならないと思う。

私たちが遺さなければならないのは、現憲法の平和主義と国民の生存権・生命権であり、これを最優先的に「次の世代への贈り物」としたい。



上野達彦 理事
(放送大学三重学習センター所長)

日本ユニセフ協会 団体賛助会員様（敬称略）

井村屋グループ(株) JAグループ三重 生活協同組合コープみえ みえ虹の会
日本トランスシティ(株) 万協製薬(株) (株)百五銀行 (株)三重銀行 (株)第三銀行
三重交通(株) 三重県生活協同組合連合会 三重大学生活協同組合

活動報告 (2016年07月～2016年12月)

パネル展・イベント



8.5～7 津平和のための戦争展
(リージョンプラザ)



8.20～28 御在所ユニセフDAY



御在所ロープウェイ6号鉄塔
高さ61m (日本一)

アグネス・チャンさんが見た、
～一筋の光～南スーダン



戦後日本におけるユニセフ支援



シリア危機
「失われた世代」にしないために



ユニセフの歴史



9月 三重銀行 (白子支店)



10月 百五銀行 (津駅前支店)

上映作品「わたしはマララ」

お客様が会場に入退場する僅かな時間の声掛けでしたが、募金箱の中の温かい気持ちを支援を待っている子どもたちに届けることができました。これからも、身近な場所で行われるイベントやさまざまな機会に、ユニセフ募金をお願いしてみようと思っています。(柏木理事)

10.1 三重県内男女共同参画連携映画祭 (フレンテみえ)



8.27 四酪牛乳でバターづくり
(御在所自然学校)



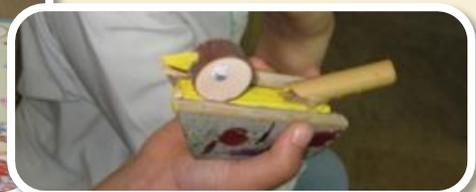
10.16 津市国際交流フェスティバル
(お城西公園・リージョンプラザ)



10.29 (総合文化センター)



8.20,25,28 ユニセフすごろく
(御在所自然学校)



8.27 ことり笛づくり
(御在所自然学校)

世界手洗いの日 (10月15日)

菟野チーム「しでこぼし」



8.21 御在所山上公園



10.15 みえこどもの城

津チーム「ラブキッズ」



11.4 清泉愛育園

「世界手洗いの日」の清泉愛育園でのユニセフ活動も3年目を迎えました。例年通り「ユニセフ」ってなあに? 「世界手洗いの日」ってなあに?のお話をして、紙芝居「ありがとうセッケンマン」を聞いていただきました。年中児・年長児は、話しかけや質問に対して元気に手を挙げて答えてくれたりうなづいたりして興味津々に耳を傾けてくれました。お話を聞いて手洗いの大切さを理解して頂いたところで、ボランティアと一緒に手洗いダンスを行い、手洗いの箇所や順番を曲にのせて何度も繰り返すことで覚えていただきました。(ボランティア 小西未知)

手をあらおう。手をつなごう。

募金活動

学校募金

西が丘小学校



8.31 津駅西口
街頭募金 8,259円

桑部小学校



11.28 学習会
募金額45,600円

養正小学校

12.2
生徒さん4人が
県協会を来訪
募金額 17,982円

三重県漁連募金活動



12.29 三重県漁連のり流通センター
募金額13,988円

鳥羽マルシェ
店舗設置
募金箱3,344円



ハンド・イン・ハンド募金11月・12月

12.10 津駅前 募金額 24,360円



名誉会長 武田美保さん



一志学園高等学校の生徒さん



森 和夫さん

コープみえ募金活動



12.4 尾鷲お魚市場
「おとと」

コープみえ
商品・くらしの活動交流会
県下9会場で開催
募金総額 23,593円



12.18 鈴鹿ハンター
ガールスカウトと共に



12.10 松菱百貨店前

県下8か所での
ハンド・イン・ハンド募金
総額 93,251円

外国コイン募金

津エアポートライン
2.42kg & 1,513円



中部国際空港設置

伊稲野会代表 森 和夫 氏

第1回世界土壌微生物オリンピック2015グランプリ受賞の田んぼで獲れた新米の配布をしていただきました。さらにお米100kg(相当額として3万円)をご寄付いただきました。



評議員就任あいさつ

庭田学（毎日新聞津支局長）

新聞記者になってもう27年になる。ユニセフに関わる仕事も何度かした。「外国コイン募金」で毎日新聞に寄せられたズッシリと重いたくさんの外国硬貨を「運ぶ」という重要な任務を果たしたこともある。

中南米特派員をしていた2008年、ユニセフなどの主催でブラジル・リオデジャネイロで開催された「第3回子どもと青少年の性的搾取に反対する世界会議」も取材した。児童買春や児童ポルノなどの根絶を話し合う重要な国際会議だった。



写真2 ペルー：ペルー・アンデスの保健施設で出会った先住民の母子たち。ユニセフの職員らが献身的に活動していた。2004年5月撮影

そんなアンデスの山奥でユニセフの現地職員たちは、妊産婦の健康管理、乳幼児への栄養指導などを行うため、集落から集落へと日々、精力的に活動を続けていた。彼らの献身的な働きぶりには本当に感銘を受けた。私は「いつかアンデスのユニセフのために力になりたい」とずっと思い続けてきたのである。



写真4 メキシコ：メキシコ市で信号待ちの私の車の窓をふく少女。貧しい子どもたちは路上で働かなくてはならない。2009年5月撮影



写真1 リオ：ブラジル・リオデジャネイロの貧困地区ファベラの子どもたち。2009年10月撮影

思い出深いのは2006年に南米ペルーのアンデス地方アブリマック州を取材した時のことだ。標高3000m付近にあるいくつかの集落を現地のユニセフ関係者の案内で、5日間に渡って取材した。四輪駆動車の助手席に座り1000mの高低差を何度も何度も上ったり下ったりしたのだが、運転手が「きみが座っている席には国連事務総長も座ったんだよ。きみもVIPだな」と冗談めかして笑ったのが懐かしい。このペルーでの取材は、先住民たちの母子保健の現状を見ることが目的だった。

1980年代、政府軍と武装集団が激しく戦闘した地域で、多くの犠牲者も出た。先住民たちの生活は非常に貧しい。



写真3 ハイチ：ハイチの大地震で子ども病院が半壊、患者の子どもたちは病院の庭に避難していた。2010年1月撮影

犠牲者30万人とも言われる2010年のハイチ大地震で家を失った子どもたちや、ブラジルのスラム街の子どもたちなどを中南米特派員として目撃してきた。多くの中南米諸国には児童労働やストリートチルドレンの問題もある。

どこの国でも「人類は、この子どもたちを幸せにしなければならない」と思うのだが、無力感にさいなまれたのも事実である。縁あって、三重県ユニセフ協会の評議員を務めさせていただくことになった。当協会の地道な活動は、世界の子どもたちの生活向上に寄与している。微力をささげたい。

庭田学（毎日新聞津支局長）

予告 2017年12月9日(土)レセプションルームにて設立5周年記念事業開催予定

発行：三重県ユニセフ協会

(事務所開設日：月・水・金 10時～17時)

TEL：059-273-5722 FAX：059-273-5758

〒514-0009 三重県津市羽所町379 コープみえ本部ビル1F

E-mail: mie-unicef@sweet.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.unicef-mie.jp